
一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会

2019 年度 社員総会 議案書

日時 2019 年 6 月 15 日 (土)
会場 日本女子大学目白キャンパス百年館 百 104 教室
時間 13:30～15:00

議事次第

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長等選出（議長 1 名、議事録署名人 2 名、記録者 1 名）
4. 議 事
 - 議案 - 1 第 5 期 推薦代議員、理事・監事の選出
 - 議案 - 2 2018 年度 事業報告
 - 議案 - 3 2018 年度 決算報告
 - 議案 - 4 監査報告
 - 議案 - 5 2019 年度 事業計画案
 - 議案 - 6 2019 年度 予算案
5. 報告
 - 1) 第 22 回（2019 年度）全国大会（東京）の概要
 - 2) 第 23 回（2020 年度）全国大会（九州沖縄支部）の概要
6. その他
7. 閉会

4. 議 事

議案 - 1 第 5 期 推薦代議員、理事・監事の選出

(12 月 11 日理事会・3 月 18 日理事会・選挙選出代議員会において、今後の役員人事等を考慮して、以下のよう
な推薦案を決定し、社員総会に上程する)

■推薦代議員候補 (10 名)、理事候補 (23 名)・監事候補 (2 名)

・推薦代議員候補 (10 名)

大塚毅彦、男鹿芳則、坂本淳、須田裕之、田中賢、西島衛治、樋口恵一、三村泰広、丹羽太一、横山哲

・選挙選出代議員 (27 名)

1) 理事候補 (会長・副会長・常設委員長等候補 : 16 名) ー小山聡子、佐藤克志、長谷川万由美、磯部友彦、
石塚裕子、原利明、秋山哲男、稲垣具志、江守央、大森宣暁、狩野徹、澤田大輔、高橋儀平、松田雄二、水村
容子、柳原崇男

2) 支部代議員 (選挙選出承認で理事確定済み : 7 名) ー鈴木克典、岡正彦、八藤後猛、嶋田喜昭、田中直人、
山岡俊一、岩浦厚信

3) 代議員 (4 名) ー金澤真理、黒寄隆、村井裕樹、吉田樹

福まち学会 第 5 期 2019-20 年度 役員人事 (案)

■会長、副会長候補

- ・会長 小山聡子
- ・副会長 佐藤克志 全体補佐 (副会長筆頭)
石塚裕子
磯部友彦
長谷川万由美
原 利明

■常設委員長等候補

- ・総務委員長 稲垣具志
- ・論文委員長 柳原崇男
- ・学会賞選考委員長 大森宣暁
- ・会誌委員長 澤田大輔
- ・学研究委員長 水村容子
- ・事業委員長 秋山哲男
- ・国際委員長 佐藤克志
- ・災害研究・支援委員長 石塚裕子
- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック推進委員長 高橋儀平

■事務局長 江守 央

■理事・監事候補

- ・支部代議員 (理事 選挙選出承認で確定済み 7 名)
鈴木克典、岡正彦、八藤後猛、嶋田喜昭、田中直人、山岡俊一、岩浦厚信

これに加え、(幹部、常設委員長、事務局)を理事候補とする

・理事追加候補 (16名)

小山聡子、佐藤克志、長谷川万由美、磯部友彦、石塚裕子、原利明、秋山哲男、稲垣具志、江守央、大森宣暁、狩野徹、澤田大輔、高橋儀平、松田雄二、水村容子、柳原崇男

・監事候補 (2名)

黒崎隆、男鹿芳則

■推薦代議員候補 (10名)

- ・大塚毅彦 明石工業高等専門学校 (関西支部)
- ・男鹿芳則 (一財)世田谷トラストまちづくり (関東甲信越支部)
- ・坂本淳 高知大学 (中国四国支部)
- ・須田裕之 (関東甲信越支部)
- ・田中賢 日本大学 (関東甲信越支部)
- ・西島衛治 (九州沖縄支部)
- ・樋口恵一 大同大学 (東海北陸支部)
- ・三村泰広 豊田都市交通研究所 (東海北陸支部)
- ・丹羽太一 東京大学大学院経済学研究科 REASE (関東甲信越支部)
- ・横山哲 (株)ドーコン (北海道支部)

議案-2 2018年度 事業報告

2-1 : 常設委員会

2-1-1 総務委員会 委員長 稲垣 具志

- (1) 学会メールマガジンの配信依頼に対する可否判断
- (2) 委員会活動における交通費、謝金等の経費運用の考え方についての議論、特別研究委員長を対象としたアンケート調査の実施
- (3) 予算及び事業計画の立案と社員総会の運営
- (4) 全国大会運営規則の改訂・全国大会運営方法の根本的な改革案の提案
- (5) 災害時の調査支援への助成金及び現地への支援金の原資確保に関する提案
- (6) 選挙改革の提案
- (7) 本部事務局職務分掌の見直し

2-1-2 論文委員会 委員長 柳原 崇男

(1) 査読状況

- ・新規投稿数：11件 前年度からの繰越：3件
- ・査読者選定中：0件 ・査読依頼中：1件 ・査読中：5件
- ・採用決定：5件 (20-2号掲載分：0件、20-3号掲載分：3件、21-1号掲載文：2件) ・不採用：3件

(2) 活動報告

- ・委員長、副委員長交代

委員長：北川博巳氏 (兵庫県立福祉のまちづくり研究所) から柳原崇男氏 (近畿大学) に交代となった。

副委員長：柳原崇男氏 (近畿大学) から神吉優美氏 (奈良県立大学) に交代となった。

2-1-3 学会賞選考委員会 委員長 大森 宣暁

(1) 第9回学会賞・市民活動賞の選考

- ・2018年1月29日 募集開始。各支部長等にも推薦依頼。
- ・2018年3月30日 応募締め切り。応募件数4件。
- ・2018年3月30日から6月25日 選考委員会によるメール審議およびヒアリング
適切なものを選考し理事会に2件を推薦
- ① わらじの会（埼玉県越谷市、春日部市）
- ② 眼の会（兵庫県神戸市）
- ・2017年8月9日 全国大会（東海）にて表彰式開催

(2) 学会賞・学術賞

本年度は選考せず

(3) 第21回全国大会、大会優秀賞及び大会奨励賞の選考

第21回全国大会の大会優秀賞及び大会奨励賞について、学会賞選考委員会において慎重な審査の結果、大会優秀賞3件、大会奨励賞4件を選考致しました。

(1) 大会優秀賞 (3件)

- ① II1D-4 (PR0052) 森口 弘美（京都府立大学）、太田啓子（立命館大学）
「知的障害のある人とつくる合理的配慮研修—Social Relationの観点からの検討—」
- ② II2D-5 (PR0071) 城戸 恵美子（三菱電機）、山崎 友賀（三菱電機）、稻田 雅之（三菱電機）
「エレベーター行先予報システムにおける誘導音の開発」
- ③ II3B-4 (PR0057) 南 聡一郎（社会科学高等研究所（EHESS））
「運賃上乗せによる交通バリアフリー財源調達の是非について—交通権と経済格差の論点から—」

(2) 大会奨励賞 (4件)

- ① I2A-1 (PR0001) 坂本 淳（高知大学）、山岡 俊一（呉工業高等専門学校）
「大規模災害時における長期浸水域内からの要医療支援者の搬送計画モデル」
- ② I2D-2 (PR0006) 太田 耕介（日本大学）、江守 央（日本大学）、佐田 達典（日本大学）
「3次元点群データを用いた車いす使用者におけるサインの視認性評価—地下改札外コンコースを対象として—」
- ③ II1C-1 (PR0088) 室崎 千重（奈良女子大学）
「聴覚障害者の観光方法を活かした体験型観光情報の提示に関する研究」
- ④ II2C-2 (PR0023) 老田 智美（NATS環境デザインネットワーク）、田中 直人（島根大学）、後藤義明（岡山理科大学）
「レミニセンス空間の導入前後に関する認知症高齢者の行動変化—認知症高齢者居住施設における周辺症状緩和につながるデザイン手法に関する研究 その3—」

○選考経過

全国大会開催時に、各セッションの座長に推薦を依頼した。推薦のあった計18本の研究発表について、概要集に掲載された論文を6人の選考委員が審査し、大会優秀賞及び大会奨励賞を決定した。

(4) 第10回学会賞・市民活動賞の募集

- ・2018年12月14日 募集開始 ・2019年2月28日 応募締め切り。3件の応募

2-1-4 会誌委員会 委員長 澤田 大輔

(1) 学会誌の発行

- ・『福祉のまちづくり研究』Vol.20 No.2 7月15日発行
特集 なし
- ・『福祉のまちづくり研究』Vol.20 No.3 11月15日発行
特集 第21回全国大会 in 関西の報告

・『福祉のまちづくり研究』Vol.21 No.1 3月15日発行

特集 「インクルーシブなアプローチ」のこれから

(2) 会誌委員会開催 ・2018年6月23日 日大理工学部（駿河台）にて開催

2-1-5 事業委員会 委員長 秋山 哲男

(1) 北海道の交通を考える連続セミナー

- ・2018年7月10日（火）：第1回「身近な生活と交通（北海道の交通を考える）」（北星学園大学）
参加者 36名
- ・2018年10月19日（金）：「北海道の交通を考える連続セミナー 第二回 一鉄道と地域交通一」
参加者 31名

(2) 情報まちづくりセミナー

- ・2018年8月29日（水）：第3回情報まちづくりセミナー（京都大学） 参加者 69名
「具体的な取り組みの進むコンパクトシティやライドシェア、観光の視点からの議論」
- ・2019年3月5日（火）：第4回情報まちづくりセミナー（富山県民会館） 参加者 39名
「地域交通計画と情報の新しい技術～MaaS・ライドシェア～」

(3) バリアフリー法の関連ガイドライン改定に関するセミナー

- ・2018年7月11日（水）：札幌 参加者 33名
- ・2018年9月4日（火）：仙台 参加者 65名
- ・2018年9月25日（火）：兵庫 参加者 171名
- ・2018年9月27日（木）：富山 参加者 26名
- ・2018年10月5日（金）：名古屋 参加者 141名
- ・2018年10月11日（木）：東京 参加者 216名
- ・2018年10月22日（月）：高松 参加者 36名
- ・2018年11月28日（水）：鳥取 参加者 40名
- ・2019年1月8日（火）：博多 参加者 99名
- ・2019年1月23日（水）：沖縄 参加者 35名
- ・2019年1月31日（木）：広島 参加者 53名

(4) その他

- ・2018年9月6日（木）：「“インクルーシブリサーチ”の可能性 知的障害のある人との共同研究」
参加者 55名
- ・2018年12月27日（木）：（大田区産業プラザ）
「地域交通と情報技術」 ～MaaS・ライドシェア・自動運転と地域交通計画～ 参加者 57名

2-1-6 国際委員会 委員長 北川 博巳

- ・第15回 TRANSED(高齢者・障害者のモビリティと交通のための国際会議)開催支援
2018年11月12日（月）～11月15日（木）
主催：エデン社会福祉財団（Eden Social Welfare Foundation）（台湾）
テーマ「みんなの為の移動：アクセス可能な交通によって世界をつなげよう」
（Mobility for All: Connecting the World with Accessible Transportation.）
メイン会場：Taipei International Convention Center

2-1-7 災害研究・支援委員会 委員長 狩野 徹

- ・2019年2月28日（木）「被災地活動報告会」＜文京区男女共同参画センター＞ 参加者約40名
- 1) 「西日本豪雨における要配慮者の実態と課題ー広島県呉市の事例ー」
山岡俊一（呉工業高等専門学校環境都市工学分野教授）

- 2) 「インクルーシブな復興まちづくりをめざしてー西日本豪雨被災地・倉敷市真備町を事例にー」
石塚裕子（公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 研究戦略センター主任研究員）
- 3) 「大規模災害未経験地域の福祉的課題ー西日本豪雨災害の教訓をどう活かすかー」
中野ひとみ（中国短期大学保育学科専攻科介護福祉専攻准教授）
- 4) 「大規模災害による交通障害とその対応・課題ー平成 30 年 7 月豪雨の対応最前線からー」
神田佑亮（呉高等工業専門学校環境都市工学分野教授）

総合討論

モデレーター 狩野徹（岩手県立大学社会福祉学部教授）

コメンテーター 秋山哲男（中央大学研究開発機構教授）・鈴木克典（北星大学経済学部教授）
長谷川万由美（宇都宮大学教育学部教授）

2-1-8 東京 2020 オリンピック・パラリンピック推進委員会 委員長 高橋 儀平

本年度は東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の準備状況の確認とピョンチャン、ロンドン大会のレガシー調査を中心に活動し、年度末に公開研究会を行った。

- (1) 2018 年 6 月 29 日（金）～7 月 1 日（日）：2018 ピョンチャンオリンピック競技大会施設および関連施設、カンヌン駅視察（会場名） 参加人数 5 名
- (2) 2018 年 11 月 22 日（水）～24 日（土）：2012 ロンドン大会オリンピックパーク視察、GloInnovation Hub、Transportation for London (TfL)、Leonard Cheshire Disability、Inclusion London、Disability Rights UK (DR) 参加人数 4 名
- (3) 2018 年 12 月 25 日（火）：公開研究会 「インクルーシブなまちづくりに向けて」
～東京 2020 パラリンピック大会を契機としたレガシーをどう構築するか。会場：東洋大学白山校舎。ピョンチャン、ロンドン視察報告とシンポジウム。2020 東京大会組織委員会、都オリパラ準備局、DPI 等関係者、参加人数 105 名

2-2： 学術研究委員会

2-2-1 学術研究委員会 委員長 水村 容子

- (1) 新論文投稿方式の検討
- (2) 第 4 期特別研究委員会の募集
- (3) 2019 年度全国大会における研究討論会実施希望の集約

2-2-1 (1) 住民参画・社会環境特別研究委員会 委員長 長野 博一

- ・2018 年 5 月 19 日（土）：中国四国支部 公開セミナーに委員 2 名が講師として登壇
内容：住民参画・社会環境特別研究委員会の活動報告
 - ・2018 年 6 月 26 日（金）：住民参画・社会環境特別研究委員会 打ち合わせ
 - ・2018 年 11 月 6 日（火）：住民参画・社会環境特別研究委員会 第 8 回公開研究会
内容：テーマ『健康まちづくりと社会環境のあり方 その 1』
講演：首都大学東京健康福祉学部作業療法学科 准教授 石橋裕 氏（委員）
「作業療法領域から見えるまちづくりと社会環境の問題点」
18 時半～（日本大学理工学部駿河台キャンパス 1 号館）参加者：19 名
- ※第 9 回公開研究会も予定しておりましたが、今年度は委員長・長野の体調不良により、1 回のみの開催となりました。第 9 回公開研究会は、2019 年度の全国大会前に実施予定

2-2-1 (2) 子育て・子育てまちづくり特別研究委員会 委員長 植田 瑞昌

(1) 委員会

- ・2018年4月16日(月):委員会顔合せ(日本大学駿河台校舎) 参加人数6人
- ・2018年8月10日(月):委員会打合せ(しあわせの村) 参加人数4人

(2) セミナー等活動報告・研究討論会

- ・2018年8月10日 研究討論会(神戸市しあわせの村) 参加者 約20人
- ・2019年3月27日 セミナー「子供の排泄とおむつ」(日本大学理工学部)
「なぜ今“おむつに頼りすぎない育児”を選択する親が増えているのか？」
おむつなし育児研究所 和田智代さん
「重度障害がある子どものおむつ使用状況と排泄環境」
日本大学大学院理工学研究科 博士後期課程 建築学専攻 植田瑞昌

2-2-1 (3) 身体と空間特別研究委員会 委員長 原 利明

- ・2018年5月21日(月):第16回委員会(日本大学駿河台校舎1号館123会議室) 2018年度活動計画確認
- ・2018年7月14日(土):日本福祉のまちづくり学会身体と空間特別研究委員会セミナーin盛岡「みること」「きくこと」「さわること」に関する基礎講座(岩手県立大学アイーナキャンパス) 岩手県立大学、東北支部と共催で、2016年に東京で行った連続セミナーのダイジェスト版を昨年度の浜松市に続いて開催。
- ・2018年8月9日(木):全国大会公開討論会「身体と空間の出会いから今後のまちづくりを考えるープラスのデザインからマイナスのデザインへ Part II」(神戸市しあわせの村) 稲垣委員、大野(央)委員、武者委員より話題提供を行い、参加者と共に本テーマについて議論。
- ・2018年9月16日(日):共に考える多機能トイレ勉強会(四日市市立博物館講座室) 東海・北陸支部との共催でWSも交えた多機能トイレの在り方についての勉強会を開催。
- ・2018年9月19日(水):第17回委員会(日本大学駿河台校舎1号館123会議室) 今回より以前行っていた委員からの話題提供を再開。話題提供・石田委員「明るくすれば良いでは付け足しになってしまう、その考え方を考える『プラスのデザインからマイナスのデザイン』を考える」。その他、応用編連続セミナー、出版原稿の議論。
- ・2018年10月17日(水):応用編連続セミナー第1回(東京大学本郷キャンパス工学部1号館15教室) 内容:2016年度に開催した基礎編を受け、光・音環境の視点から『プラスのデザインからマイナスのデザイン』を考える。
- ・2018年11月22日(木):第18回委員会(東京大学本郷キャンパス工学部1号館3階会議室) 内容:桑波田委員の話題提供と出版原稿に関する議論。
- ・2018年11月22日(木):応用編連続セミナー第2回(東京大学本郷キャンパス工学部1号館15教室) 内容:ホーム上の誘導ブロックの敷設方法とホームドアの視点から『プラスのデザインからマイナスのデザイン』を考える。
- ・2018年12月12日(水):応用編連続セミナー第3回(日本大学理工学部駿河台校舎1号館141教室) 内容:サイン計画、生活道路の安全性の視点から『プラスのデザインからマイナスのデザイン』を考える。
- ・2019年1月30日(水):応用編連続セミナー第4回(日本大学理工学部駿河台校舎1号館141教室) 内容:デザイナーと利用者の視点から『プラスのデザインからマイナスのデザイン』を考える。
- ・2019年2月下旬:第19回委員会 内容:話題提供と2019年度の活動計画。

2-2-1 (4) サイン環境特別研究委員会 委員長 田中 直人

- ・2018年4月28日(土):第1回委員会(大阪)
- ・2018年7月21日(土):第2回委員会(大阪)
- ・2018年8月10日(金):第3回委員会(全国大会・しあわせの村/神戸市)
- ・2018年8月10日(土):第21回全国大会 in 関西
研究討論会「国際化・外国人に対応したサイン環境デザイン」(しあわせの村/神戸市) 参加人数40名

- ・2018年10月27日（土）：第4回委員会（大阪）
- ・2019年 1月19日（土）：第5回委員会（大阪）
- ・2019年 2月22日（金）：第6回委員会（大阪）
- ・2019年 2月22日（金）：研究会「これからのサイン環境整備に求められる課題ー国際イベントを契機にめざす関西のユニバーサル社会づくりー」（OIT 梅田タワー）参加人数 50 名定員

2-2-1 (5) 心のバリアフリー特別研究委員会 委員長 中野 泰志

- ・2018年5月8日（火）：当特別委員会で開発した「障害の社会モデル研修」を目指す「車いす使用の講師と考える『心のバリアフリー』」を、慶應義塾大学日吉キャンパス「BF/UD 入門Ⅰ」の授業で実施。（慶應義塾大学日吉キャンパス）委員会委員参加者：3名、受講者約40名
- ・2018年5月24日（木）：「車いす使用の講師と考える『心のバリアフリー』」を練馬区の市民大学「パワーアップカレッジねりま」で実施。（練馬区立区民・産業プラザ）委員会委員参加者：3名、受講者約35名
- ・2018年6月12日（火）：動画コンテンツ「視覚障害編」の企画検討。（国土技術研究センター）委員会委員参加者：3名、協力者：2名
- ・2018年7月2日（月）：動画コンテンツ「視覚障害編」の企画検討。（国土技術研究センター）委員会委員参加者：6名、協力者：6名
- ・2018年7月11日（水）：動画コンテンツ「視覚障害編」のシナリオ作成、撮影場所のロケハン。（日本盲人会連合）委員会委員参加者：3名、協力者：3名
- ・2018年7月25日（水）：動画コンテンツ「視覚障害編」の撮影、録音。（日本盲人会連合）委員会委員参加者：2名、協力者：3名
- ・2018年8月9日（木）研究討論会（しあわせの村）
テーマ「精神障害と視覚障害を題材とした『心のバリアフリー』研修：障害の理解から人権の理解への展開」を開催。（全国大会会場）委員会委員参加者：10名、討論会参加者約80名
- ・2018年9月26日（水）：「障害の社会モデル研修（精神障害編）」の企画・シナリオ検討。（国土技術研究センター）委員会委員参加者：10名、協力者：13名
- ・2018年10月3日（水）：動画コンテンツ「精神障害編」のシナリオ検討。（国土技術研究センター）委員会委員参加者：5名、協力者：3名。
- ・2018年10月17日（水）：「車いす使用の講師と考える『心のバリアフリー』」を新宿区の区民と区職員の参加するUDワークショップで実施。（新宿区役所）委員会委員参加者：3名、協力者：2名、受講者：20名
- ・2018年11月2日（金）：動画コンテンツ「精神障害編」の撮影リハーサル。（国土技術研究センター）委員会委員参加者：3名、協力者：2名
- ・2018年11月6日（火）：「障害の社会モデル研修（視覚障害編）」のプログラム及び研修内容の検討。（国土技術研究センター）委員会委員参加者：4名、協力者：3名
- ・2018年11月9日（金）：動画コンテンツ「精神障害編」の撮影。（東葉高速鉄道車両基地）委員会委員参加者：7名、協力者：8名
- ・2018年11月27日（火）：当特別委員会で開発した「障害の社会モデル研修」を目指す「視覚障害の講師と考える『心のバリアフリー』」を、慶應義塾大学日吉キャンパス「BF/UD 入門Ⅱ」の授業で実施。（慶應義塾大学日吉キャンパス）委員会委員参加者：3名、受講者約30名
- ・2018年11月29日（木）：動画コンテンツ「精神障害編」の動画コンテンツを使った研修プログラムの検討。（国土技術研究センター）委員会委員参加者：9名、協力者：15名
- ・2018年12月20日（木）：「障害の社会モデル研修（聴覚障害編）」のプログラムの検討。（国土技術研究センター）委員会委員参加者：2名、協力者：3名
- ・2019年1月21日（月）：「障害の社会モデル研修（精神障害編）」の試行。（慶應義塾大学日吉キャンパス）委員会委員参加者：4名、協力者：4名、受講大学生：10名、関係者：2名
- ・2019年2月8日（金）：「DPI 障害当事者リーダー養成研修」の中で「車いす使用の講師と考える『心のバリアフリー』」を実施。

アフリー』の研修プログラムを紹介。(静岡県総合社会福祉会館シズウェル) 委員会委員参加者: 2名、受講者: 25名

- ・2019年2月23日(土): 市民向け心のバリアフリー研修(浜松市)で「車いす使用の講師と考える『心のバリアフリー』」の研修を実施予定。(浜松市福祉交流センター) 委員会委員参加者: 4名、受講者: 20名
- ・2019年3月5日(火): 今年度の活動総括と来年度の活動に向けた打合せ。「障害の社会モデル研修(精神障害編)」の本格実施、「聴覚障害編」のコンテンツ制作について協議。(国土技術研究センター) 委員会委員参加者: 7名、協力者: 15名

2-2-1 (6) 地域福祉交通特別研究委員会 委員長 吉田 樹

- ・2018年6月8日(金): トヨタモビリティ基金との研究ミーティング(トヨタ自動車東京本社)
参加人数: 10人
- ・2018年8月11日(土): 研究討論会「豊かな『くらしの足』を創り、育てる『のりしろ』を考える」
(神戸・しあわせの村) 参加人数: 20人
- ・2018年10月16日(火): 第三回 持続可能な“暮らしの足”を考えるフォーラム in 東北2018秋―助け合い送迎でつくる豊かな地域の移動―(東北学院大学土樋キャンパス ホーイ記念館 ホール)
参加人数: 165人 ※ 上記フォーラムに共催
- ・2018年12月27日(木): 地域交通と情報技術～MaaS・ライドシェア・自動運転と地域交通計画～(大田区産業プラザPIO 6階 D会議室(東京都大田区)) 参加人数: 60名 事業委員会共催

2-2-1 (7) 法制度特別研究委員会 委員長 男鹿 芳則

- ・2018年5月19日(土): 施設見学会(お茶の水・井上眼科クリニック) 参加人数: 9名
- ・2018年9月5日(水): 研究会・現場見学会「空き家等のリノベーション(福祉転用)の現状と課題(その1)」
(タガヤセ大蔵、ふくふくのいえ) 参加人数: 6名
- ・2018年12月19日(水): 勉強会「遊び場環境のユニバーサルデザインと参加のデザイン」(JICE会議室)
参加人数: 12名

2-2-1 (8) 住まいと福祉コミュニティ特別研究委員会 委員長 水村 容子

特に活動実績はありませんでした。

多忙につき次年度の活動の見通しが立たないため第4期への申請は行いませんでした。

2-2-1 (9) 国家資格等に関連する合理的配慮特別研究委員会 委員長 上野 敏行

- ・2018年7月1日(日): 学習会(文教福祉センター) 参加者15名(委員4名を含む)
- ・2018年7月1日(日): 委員会(〃) 5名
- ・2018年9月15日(土): 委員会(日本大学) 5名
- ・2018年12月29日(日): 委員会(日本大学) 5名

2-2-1 (10) 文化財・世界遺産のアクセシビリティ特別研究委員会 委員長 高橋 儀平

- ・2018年4月12日(木) 第1回研究会、エコモビリティ財団会議室、参加人数9名
平成29年度事業報告・決算報告、30年度事業計画・予算計画、文化財のバリアフリー事例集2018の進め方、文化庁の「文化財バリアフリー事例集―共生社会実現に向けて―」について説明、2017世界遺産のアクセシビリティ調査結果の概要報告
- ・2018年7月23日(月) 第2回研究会、エコモビリティ財団会議室、参加人数7名
2018年度事例集に向けた作業報告、次回見学会候補について、名古屋城木造復元問題、その他情報交換
- ・2018年11月8日(金) 第3回研究会 『名古屋城木造復元とエレベーター設置に関する緊急ミニ研究集会』

問題提起 「名古屋城木造復元とエレベーター設置の要求」辻直哉（愛知障害フォーラム事務局長）
参加人数 10 名

2-3： 支部

2-3-1 北海道支部 支部長 鈴木 克典

(1) 支部総会

- ・2018 年 6 月 30 日（土）（一般社団法人北海道開発技術センター会議室）出席・委任 25 名/支部会員 39 名

(2) 活動

- ・2018 年 6 月 17 日（日）：第 13 回北海道ユニバーサル上映映画祭 in 七飯上映会（七飯町文化センター）
参加人数：200 名
- ・2018 年 7 月 10 日（火）：北海道の交通を考える連続セミナー第 2 回
「身近な生活と交通（北海道の交通を考える）」（北星学園大学） 参加人数：30 名程度
- ・2018 年 9 月 22 日（土）：第 13 回北海道ユニバーサル上映映画祭北斗会場（北斗市総合文化センター）
参加人数：147 名
- ・2018 年 10 月 19 日（金）：北海道の交通を考える連続セミナー第 3 回
「鉄道と地域交通」（北星学園大学） 参加人数：30 名程度
- ・2018 年 11 月 18 日（日）：第 13 回北海道ユニバーサル上映映画祭函館会場（函館市総合福祉センター）
参加人数：237 名
- ・2019 年 2 月 19 日（火）：第 18 回「野生生物と交通」研究発表会（札幌市民交流プラザ）
参加人数：200 名

2-3-2 東北支部 支部長 岡 正彦

(1) 2018 年度支部総会

- ・2018 年 6 月 09 日（土）：東北福祉大学仙台駅東口キャンパス

(2) 活動

- ・2018 年 7 月 14 日（土）：身体と空間特別研究委員会によるシンポジウム（岩手県立大学アイーナキャンパス）
- ・2018 年 9 月 04 日（火）：バリアフリー整備ガイドライン改定に関するセミナー（東北福祉大学仙台駅東口キャンパス）

2-3-3 関東甲信越支部 支部長 西出 和彦

(1) 支部総会

- ・2018 年 5 月 11 日（金）：東京大学本郷キャンパス 参加人数 16 名

(2) 活動

- ・2018 年 10 月 11 日（木）：関東甲信越支部・事業委員会共同主催研究会「バリアフリー整備ガイドライン改定に関するセミナー」（都道府県会館 101 会議室）
- ・2018 年 10 月 9 日（火）：支部委員会・第 1 回 2019 年大会準備会（日本大学理工学部駿河台校舎 タワー・スコラ 12 階） 参加人数 15 名
- ・2018 年 11 月 10 日（土）：「若手研究者交流会（合同ゼミ）」（東京大学本郷キャンパス） 発表人数 11 名

2-3-4 東海北陸支部 支部長 磯部 友彦

(1) 活動

- ・2018 年 6 月 30 日（土）：東海北陸支部 第 6 回研究・活動発表会（大同大学滝春キャンパス）

内容：東海北陸支部会員が行っている福祉のまちづくりに関する研究、活動等の報告 参加者：22 名

- ・2018 年 9 月 16 日(日)：「共に考える多機能トイレ勉強会」(四日市市立博物館) 参加者：31 名

内容：第 1 部：名古屋大学名誉教授谷口元氏から「多機能トイレが生み出された経緯と将来」、LIXIL 新美浩二氏から「最新トイレ事情を含めたプランの考え方」の話題提供。第 2 部：後半、障害当事者を交えたグループワークを行い、トイレの困りごとや解決策をテーマに活発な討論。

- ・2018 年 9 月 27 日(木)：バリアフリーガイドライン改定セミナー in 富山 (大学コンソーシアム富山駅前キャンパス) 参加者：19 名

内容：北陸信越運輸局消費者行政・情報課課長 片倉勝氏より法律および基準改正の概要、交通エコロジー・モビリティ財団 北野知裕氏、松原淳氏よりガイドラインの見直し概要、一般社団法人富山県手をつなぐ会理事 細川瑞子氏より当事者からの期待課題について説明、発表。

- ・2018 年 10 月 5 日(金)：バリアフリーガイドライン改定セミナー in 愛知 (ウインクあいち) 参加者：141 名
内容：中部運輸局消費者行政・情報課課長 前中稔章氏より法律および基準改正の概要、交通エコロジー・モビリティ財団 澤田大輔氏よりガイドラインの見直し概要について報告があった。その後、愛知障害フォーラム (ADF) 事務局長 辻直哉氏より当事者からの期待課題、全体のコメントとして中央大学秋山哲男氏より発表。

- ・2018 年 12 月 8 日(土)：名古屋城木造復元のバリアフリーを考えるシンポジウム (ウインクあいち)

内容：名古屋城木造天守にエレベーター設置を実現する実行委員会との共催。

第 1 部：高橋儀平氏による基調講演、第 2 部：「名古屋城木造復元のバリアフリーを実現するために」をテーマにパネルディスカッション。参加者：45 名

(2) 2019 年度支部総会

- ・2019 年 3 月 17 日(日)：東海北陸支部総会 (名古屋都市センター14F 第 3 会議室)

総会：2018 年度活動報告・会計報告案並びに 2019 年度活動計画・予算案、役員改選

2-3-5 関西支部 支部長 田中 直人

(1) 支部総会、役員会

- ・2018 年 4 月 25 日 (水)：役員会 (大阪)
- ・2018 年 5 月 22 日 (火)：総会・セミナー (大阪)
- ・2019 年 11 月 6 日 (火)：役員会 (神戸)

(2) 全国大会実行委員会

- ・2018 年 4 月 25 日 (水)：第 8 回全国大会実行委員会 (大阪)
- ・2018 年 5 月 22 日 (火)：第 9 回全国大会実行委員会 (大阪)
- ・2018 年 6 月 13 日 (水)：第 10 回全国大会実行委員会 (大阪)
- ・2018 年 7 月 11 日 (水)：第 11 回全国大会実行委員会 (大阪)
- ・2018 年 7 月 27 日 (金)：第 12 回全国大会実行委員会 (大阪)
- ・2018 年 10 月 1 日 (月)：第 13 回全国大会実行委員会 (大阪)

(3) 活動

- ・2018 年 5 月 22 日 (火) 総会および第 47 回関西セミナー (大阪)
- ・2018 年 7 月 31 日 (火) ひょうごユニバーサル社会づくり推進大会・第 26 回福祉のまちづくりセミナー後援 (神戸)
- ・2018 年 8 月 8 日～11 日 (水～土祝)：第 21 回全国大会開催 (神戸)
- ・2018 年 8 月 10 日 (金)：第 21 回全国大会開催研究討論会開催 (参加：233 名)
「もっとやさしいまちにしたいねん～視覚障害者から」
- ・2018 年 8 月 11 日 (土)：第 21 回全国大会開催研究討論会開催
「バリアフリー法の改正～何がポイントか～」
- ・2018 年 9 月 25 日 (火)：「バリアフリー法の関連ガイドライン改定に関するセミナー」(神戸市)

- ・2019年12月 1日（土）：日本リハビリテーション工学協会関西支部合同勉強会
「バリアフリー・ユニバーサルデザインの一步先の展開社会的包摂に向けてのインクルーシブリサーチ」
- ・2019年 2月22日（金）：サイン環境特別研究委員会研究会共催（大阪）
「これからのサイン環境整備に求められる課題－国際イベントを契機にめざす関西のユニバーサル社会づくり－」

2-3-6 中国四国支部 支部長 山岡 俊一

(1) 支部総会

- ・2018年5月19日（土）：2018年度支部通常総会（広島YMCA国際文化センター） 参加人数（8名）

(2) 活動

- ・2018年5月19日（土）：講演会「福祉のまちづくりにおける住民参加・参画」（広島YMCA国際文化センター） 参加人数（12名）
- ・2018年10月20日（土）：誰もが安心して出かけられるまちの実現を考えるセミナー in 高知（高知市文化プラザ） 参加人数（20名）
- ・2018年10月22日（月）：バリアフリー整備ガイドライン改定に関するセミナー（高松サンポート合同庁舎） 参加人数（35名）
- ・2019年1月31日（木）：バリアフリー整備ガイドライン改定に関するセミナー（サテライトキャンパスひろしま） 参加人数（53名）
- ・2019年3月9日（土）：支部幹事会（サテライトキャンパスひろしま） 参加人数（7名）
- ・2019年3月9日（土）：2018年度（第4回）日本福祉のまちづくり学会中国四国支部 研究・活動発表会（サテライトキャンパスひろしま） 参加人数（14名）
- ・2019年3月16日（土）：広島文化学園大学大学院社会情報研究科・社会情報学部平成30年度公開講演会・シンポジウム「地方における観光と地域振興」（共催）（大和ミュージアム4階研修室） 参加人数（30名）

2-3-7 九州沖縄支部 支部長 岩浦厚信

(1) 支部総会

- ・2018年度支部総会 6月2日（土）（九州看護福祉大学） 参加4名

(2) 活動

- ・2018年度支部大会 11月17日（土）（宮崎空港ビルレセプションルーム） 参加20名
- ・2019年1月8日（火）：バリアフリー整備ガイドライン改訂に関するセミナー（福岡市） 参加100名
- ・2019年1月23日（水）：バリアフリー整備ガイドライン改訂に関するセミナー（那覇市） 参加50名

議案-3 2018年度 決算報告

収 支 計 算 書

2018年 4月 1日 から 2019年 3月 31日まで

		(単位:円)		
科 目	予 算 額	実 績	差 異	執行状況
I 収入の部				
1. 会費収入	6,740,000	6,340,000	△ 400,000	94.1%
正会員	6,500,000	6,110,000	△ 390,000	94.0%
学生会員	150,000	120,000	△ 30,000	80.0%
入会金	90,000	110,000	20,000	122.2%
2. 賛助会員会費	800,000	740,000	△ 60,000	92.5%
賛助会員	800,000	740,000	△ 60,000	92.5%
3. 事業収入	3,989,500	3,665,271	△ 324,229	91.9%
全国大会収入	3,000,000	2,815,509	△ 184,491	93.9%
論文掲載料・査読料	240,000	94,260	△ 145,740	39.3%
会誌等刊行物販売(会誌購読含む)	100,000	62,280	△ 37,720	62.3%
広告収入	60,000	30,000	△ 30,000	50.0%
事業委員会(受託+イベント参加費)	300,000	450,720	150,720	150.2%
特別研究委員会イベント参加費	199,500	134,000	△ 65,500	67.2%
総会懇親会参加費	60,000	62,500	2,500	104.2%
支部収入	30,000	16,002	△ 13,998	53.3%
4. 寄付金収入	0	0	0	-
5. 前年度繰越金	3,833,613	3,833,613	0	-
6. 雑収入(利息等)	20	31	11	155.0%
収入合計	15,363,133	14,578,915	△ 784,218	94.9%
II 支出の部				
1. 事業費	8,650,000	6,441,856	△ 2,208,144	74.5%
全国大会事業費	3,500,000	2,945,814	△ 554,186	84.2%
受付システム構築・概要集CDR作成	850,000	453,600	△ 396,400	53.4%
全国大会時討論会	50,000	52,080	2,080	104.2%
論文 査読者謝金、通信、抜刷作成等	210,000	86,894	△ 123,106	41.4%
学会賞 事業費	150,000	143,940	△ 6,060	96.0%
会誌 学会誌3号分、XML化:J-STAGE	1,700,000	1,408,807	△ 291,193	82.9%
事業委員会 事業費	340,000	552,893	212,893	162.6%
国際委員会 事業費	100,000	0	△ 100,000	0.0%
災害研究・支援委員会 事業費	100,000	5,700	△ 94,300	5.7%
オリパラ委員会 事業費	90,000	24,800	△ 65,200	27.6%
学術研究 特別研究委員会事業費	750,000	344,277	△ 405,723	45.9%
特別研究委員会 情報保障・保育等	250,000	0	△ 250,000	0.0%
支部 事業費	560,000	423,051	△ 136,949	75.5%
2. 管理費	5,706,000	5,999,327	293,327	105.1%
事務局本部人件費	2,650,000	2,577,547	△ 72,453	97.3%
事務委託費	1,650,000	1,870,589	220,589	113.4%
ホームページ維持管理	16,000	15,422	△ 578	96.4%
備品・消耗品費・コピー代等	40,000	15,789	△ 24,211	39.5%
通信費(切手代、宅配便、送金手数料)	30,000	55,205	25,205	184.0%
総会・理事会運営費(講師謝礼等)	130,000	144,326	14,326	111.0%
役員等交通費:総会、理事会、幹部会等	650,000	802,075	152,075	123.4%
選挙関連費用	330,000	320,561	△ 9,439	97.1%
JD年会費	100,000	100,000	0	100.0%
CPD登録料	30,000	25,710	△ 4,290	85.7%
税務処理費	70,000	70,000	0	100.0%
事務諸経費(会議費、雑費)	10,000	2,103	△ 7,897	21.0%
3. 積立金および積み立て繰入支出	1,000,000	1,000,000	0	100.0%
4. 予備費	7,133	0	△ 7,133	0.0%
当年度支出合計	15,363,133	13,441,183	△ 1,921,950	87.5%
当年度収支差額	0	1,137,732		
次年度繰越金	0	1,137,732		

日本福祉のまちづくり学会		第21回記念全国大会in関西 決算書			2019年2月6日		
	項 目	予 算			決 算		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額
収入	1. 収入						
	①参加費						
	正会員（事前）	150名	8,000	1,200,000	143名	8,000	1,144,000
	正会員（当日）	10名	10,000	100,000	32名	10,000	320,000
	非会員	2名	10,000	20,000	31名	10,000	310,000
	学生会員（事前）	20名	2,000	40,000	11名	2,000	22,000
	学生会員（当日）	20名	3,000	60,000	2名	3,000	6,000
	学生非会員	2名	3,000	6,000	7名	3,000	21,000
	小 計（1）			1,426,000			1,823,000
	②展示出展費						
	企業	6社	30,000	180,000	4社	30,000	120,000
	NPO,市民団体	1社	10,000	10,000	0社	10,000	0
	小 計（2）			190,000			120,000
	③広告協賛費						
	広告費 A4版1頁	1社	100,000	100,000	0社	100,000	0
	A4版1頁割引	0社	50,000	0	1社	50,000	50,000
	A4版1/2頁	1社	50,000	50,000	0社	50,000	0
	A4版1/2頁割引	1社	25,000	25,000	2社	25,000	50,000
	A4版1/4頁	1社	20,000	20,000	4社	20,000	80,000
	賛助金	12社	50,000	600,000	8社	10,000	80,000
	小 計（3）			795,000			260,000
	④支援金等						
	学会本部支援金	一式		500,000	一式		130,305
	小 計（4）			500,000			130,305
	⑤交流会参加費						
	一般会員（事前）	80名	5,000	400,000	65名	5,000	325,000
	一般会員（当日）	10名	6,000	60,000	25名	6,000	150,000
	学生会員（事前）	5名	2,000	10,000	3名	2,000	6,000
	学生会員（当日）	0名	2,000	0	6名	2,000	12,000
	非会員	0名	6,000	0	1名	6,000	6,000
	弁当代	110個	1,000	110,000	99個	1,000	99,000
	小 計（5）			580,000			598,000
	⑥見学会	50名	500	25,000	28名	500	14,000
	小 計（6）			25,000			14,000
	⑦その他						
	手数料				1名	500	500
	利息						9
	小 計（7）						509
	収入合計			3,516,000			2,945,814
支出	2. 支出						
	①会場費						
	しあわせの村本館・たんぼの家			0			0
	宴会場	一式		0	一式		0
	機器レンタル	一式	200,000	200,000	一式		48,660
	小 計（1）			200,000			48,660
	②設営費						
	看板・案内サイン作成費	一式	800,000	800,000	一式	125,820	125,820
	小 計（2）			800,000			125,820
	③印刷費						
	プログラム印刷費(300部)	一式		120,000	一式	44,120	44,120
	大会チラシ印刷費(500部)	一式		24,000	一式	1,830	1,830
	合同チラシ印刷費(70000部)			0	一式	100,000	100,000
	シンボ・まちづくり教室チラシ印刷費(1800部)			0	一式	11,500	11,500
	シンポジウム資料印刷費			0	一式	4,340	4,340
	小 計（3）			144,000			161,790
	④シンポジウム報奨費・旅費						
	基調講演謝金	1	50,000	50,000	2名	10,000	20,000
	同 旅費	1	100,000	100,000	1名	960	960
	機器レンタル	一式	100,000	100,000		0	0
	小 計（4）			250,000			20,960
	⑤支部主催研究討論会						
	講師謝金		0	0	3名	10,000	30,000
	講師旅費		0	0	3名		5,980
	小 計（5）			0			35,980
	⑥情報保障等費用						
	手話通訳	一式	100,000	300,000	一式		141,070
	要約筆記	一式	87,000	87,000	一式		70,270
	託児委託費	一式	75,000	75,000	一式		36,520
	機器レンタル			0	一式		21,600
	小 計（6）			462,000			269,460
	⑦交流会・参加者弁当						
	交流会費	一式	500,000	500,000	一式	450,000	450,000
	演出代	一式	100,000	100,000	一式	12,750	12,750
	弁当代（参加者）	110名	1,000	110,000	99名	1,000	99,000
	弁当代（スタッフ）	100名	1,000	100,000	107名	1,000	107,000
	小 計（7）			810,000			668,750
	⑧まちづくりコンペ						
	記念品等	一式	100,000	100,000	一式	79,979	79,979
	小 計（8）			100,000			79,979
	⑨市民参加型イベント						
	謝礼金（UDサポーター）	一式	30,000	30,000	6名	3,000	18,000
	謝礼金（各団体）	一式	60,000	60,000	一式	72,400	72,400
	雑費		10,000	10,000		27,500	27,500
	小 計（9）			100,000			117,900
	⑩見学会						
	講師・資料代	2社	5,000	10,000	2社		9,500
	小 計（10）			10,000			9,500
	⑪その他						
	アルバイト人件費	一式	390,000	390,000	56名		417,670
	会議費	一式		100,000	一式		145,051
	通信費	一式		50,000	一式		36,935
	実行委員交通費						185,020
	事務用品費	一式		100,000	一式		112,700
	雑費				一式		9,584
	損害保険料	一式			一式		38,550
	大会CD-ROM作成費				300枚		318,945
	システム改修費						142,560
	小 計（11）			640,000			1,407,015
	支出合計			3,516,000			2,945,814

貸 借 対 照 表

2019年 3月 31日 現在

(単位:円)

科 目	金 額			
		合 計		
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	1,130,503			
前払費用	300,000			
流動資産合計			1,430,503	
2. 固定資産				
積立金	4,500,000			
固定資産合計			4,500,000	
資産合計				5,930,503
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	138,360			
会費前受金	77,000			
預り金	77,411			
流動負債合計			292,771	
2. 固定負債				
固定負債合計			0	
負債合計				292,771
III 正味財産の部				
正味財産				5,637,732
(うち基本金)				(0)
(うち当期正味財産増減額)				292,771
負債及び正味財産合計				5,930,503

財 産 目 録

2019年 3月 31日 現在

(単位:円)

科 目	細 目	金 額	
		一般勘定	合 計
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
	(1) 現金		
	関西支部	10,101	
	(2) 普通預金		
	ゆうちょ銀行	152,767	
	北海道支部	100,013	
	東北支部	10,527	
	関東支部	313,021	
	東海北陸支部	37,868	
	関西支部	326,637	
	中国四国支部	21,012	
	九州支部	47,642	
	(3) 郵便口座		
	(会費口)	95,416	
	(4) 事務局預かり金	15,499	
	(5) 前払費用	300,000	
	流動資産合計		1,430,503
2. 固定資産			
(1) 積立金			
	(1) 普通預金		
	みずほ銀行朝霞支店	4,500,000	
	固定資産合計		4,500,000
資 産 合 計			5,930,503
II 負債の部			
1. 流動負債			
(1) 未払金		138,360	
(2) 会費前受金		77,000	
(3) 預り金		77,411	
	流動負債合計		292,771
2. 固定負債			
	固定負債合計	0	
負 債 合 計			292,771
正 味 財 産			5,637,732

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 資金の範囲について

資金の範囲については、現金預金、前払費用、未払金、会費前受金、預り金を含めることにしている。

2. 次年度繰越金の内容は、次の通りである。

科 目	当期末残高
現金預金	1,130,503
前払費用	300,000
未払金	(138,360)
会費前受金	(77,000)
預り金	(77,411)
次期繰越収支差額	1,137,732

3. 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込み方式によって行っている。

正味財産増減計算書

2018年 4月 1日から2019年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収益	6,340,000	6,269,000	71,000
正会員	6,110,000	6,067,000	43,000
学生会員	120,000	120,000	0
入会金	110,000	82,000	28,000
法人会費	740,000	680,000	60,000
賛助会員	740,000	680,000	60,000
事業収益	3,665,271	4,193,167	△ 527,896
全国大会収益	2,815,509	3,064,800	△ 249,291
論文掲載料・査読料	94,260	261,270	△ 167,010
刊行物販売等	62,280	99,595	△ 37,315
広告収益	30,000	30,000	0
事業委員会収益	450,720	517,500	△ 66,780
常設委員会収益	0	72,500	△ 72,500
特別研究委員会収益	134,000	103,500	30,500
総会懇親会参加収益	62,500	0	62,500
支部収益	16,002	44,002	△ 28,000
雑収益	31	31	0
経常収益計	10,745,302	11,142,198	△ 396,896
(2) 経常費用			
事業費	6,441,856	7,756,093	△ 1,314,237
全国大会事業費	2,945,814	3,251,211	△ 305,397
受付システム構築・概要集CDR作成費	453,600	856,548	△ 402,948
全国大会時討論会	52,080	56,486	△ 4,406
ホームページ維持管理	0	15,422	△ 15,422
学会変更登記手数料	0	41,620	△ 41,620
総会・理事会運営費	0	123,093	△ 123,093
新リーフレットの印刷費	0	17,300	△ 17,300
論文査読者謝金、通信、抜刷作成等	86,894	160,355	△ 73,461
学会賞事業費	143,940	74,600	69,340
会誌	1,408,807	1,671,808	△ 263,001
事業委員会事業費	552,893	543,026	9,867
国際委員会事業費	0	24,660	△ 24,660
災害研究・支援委員会事業費	5,700	0	5,700
オリパラ研究会	24,800	0	24,800
学術特別研究委員会事業費	344,277	436,058	△ 91,781
特別研究委員会情報保障・保育等	0	76,134	△ 76,134
支部事業費	423,051	307,772	115,279
JD年会費・入会金	0	100,000	△ 100,000
管理費	5,999,327	5,396,461	602,866
事務局本部人件費	2,577,547	2,640,360	△ 62,813
事務委託費	1,870,589	1,941,627	△ 71,038
備品・消耗品費・コピー代等	15,789	40,813	△ 25,024
通信費	55,205	47,511	7,694
役員等交通費	802,075	640,350	161,725
税務処理費	70,000	70,000	0
事務諸経費	2,103	15,800	△ 13,697
HP維持管理費	15,422	0	15,422
総会・理事会運営費	144,326	0	144,326
選挙関連費	320,561	0	320,561
JD年会費	100,000	0	100,000
C P D登録料	25,710	0	25,710
経常費用計	12,441,183	13,152,554	△ 711,371
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,695,881	△ 2,010,356	314,475
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,695,881	△ 2,010,356	314,475
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,695,881	△ 2,010,356	314,475
一般正味財産期首残高	7,333,613	9,343,969	△ 2,010,356
一般正味財産期末残高	5,637,732	7,333,613	△ 1,695,881
II 正味財産期末残高	5,637,732	7,333,613	△ 1,695,881

議案-4 2018 年度 會計監查報告

5-1 : 常設委員会

5-1-1 総務委員会 委員長 稲垣 具志

- 委員 : 竹島恵子 (交通エコロジー・モビリティ財団)、長野博一 (荒川区)、原利明 (鹿島建設)
- ・定款・内規等の規定について、内容の精査を行い必要に応じて見直しの実施
 - ・学会メールマガジンの配信依頼に対する可否判断
 - ・委員会活動における経費運用の考え方に関する提案
 - ・学会としての参加保障・情報保障のあり方に関する議論、指針の提案 (全国大会の議論と連動)
 - ・会員増員のための方策の検討
 - ・委託事務局の国際文献社との調整

5-1-2 論文委員会 委員長 柳原崇男

- 副委員長 : 神吉優美 (奈良県立大学)
- 委員 : 北川博巳 (兵庫県立福祉のまちづくり研究所)、古瀬 敏、坂本淳 (高知大学)、西村 顕 (横浜市総合リハビリテーションセンター)、室崎千重 (奈良女子大学)、吉田仁美 (岩手県立大学)、
- (1) 論文集の発行・査読の実施・査読体制の充実
 - (2) 掲載料、査読謝礼の見直し

5-1-3 学会賞選考委員会 委員長 大森 宣暁

- 委員 : 秋山哲男 (元会長・特別委員、中央大学研究開発機構)、岩浦厚信、岡正彦 (東北福祉大学)、長谷川万由美 (宇都宮大学)、山岡俊一 (豊田工業高等専門学校)
- (1) 第10回学会賞・市民活動賞の選考
 - ・応募された活動から適切なものを選考する。
 - ・2019年8月8日 全国大会 (東京) で表彰式を開催予定。
 - (2) 第10回学会賞・学術賞の選考
 - ・選考対象論文として Vol.19No.2 2017年7月 ~ Vol.21No.1 2019年3月掲載分の10件から選考委員会の委員で受賞にふさわしい論文を選考
 - ・2019年8月8日 全国大会 (東京) で表彰式を開催予定。
 - (3) 第22回全国大会、大会優秀賞及び大会奨励賞の選考
 - ・2019年8月8日、9日 全国大会 (東京) 研究発表会の各セッションの座長に推薦を依頼。
 - ・選考委員会で、大会優秀賞及び大会奨励賞を選考。
 - (4) 選考内規作成

5-1-4 会誌委員会 委員長 澤田 大輔

- 副委員長 : 大森宣暁 (宇都宮大学大学院)
- 委員 : 池田典弘 (株式会社キクテック)、稲垣具志 (日本大学)、猪井博登 (富山大学)
岩浦厚信、河合俊宏 (埼玉県総合リハビリテーションセンター)、鳥山剛 (広島大学)
山田義文 (日本大学)、横山哲 (株式会社ドーコン)
- (1) 学会誌の発行
 - ・『福祉のまちづくり研究』Vol.21 No.2 7月15日発行
 - 第22回全国大会 東京大会直前案内
 - 特集 多様な利用者と交通安全 ほかに特別研究委員会関連特集があれば掲載

・『福祉のまちづくり研究』Vol. 21 No. 3 11月15日発行

特集1：第22回全国大会 東京大会開催報告

特集2：(企画調整中) ほかに特別研究委員会関連特集があれば掲載

・『福祉のまちづくり研究』Vol. 22 No. 1 3月15日発行

特集：(企画調整中) ほかに特別研究委員会関連特集があれば掲載

・会誌委員会は総会時等に適宜開催予定

※役員の皆さん、会誌購読会員の増加、関係企業への巻末広告掲載の勧誘のご協力も引き続きお願い致します。

5-1-5 事業委員会 委員長 秋山 哲男

○委員：高橋儀平(東洋大学)、松原淳(交通エコロジーモビリティ財団)、澤田大輔(交通エコロジーモビリティ財団)、丹羽奈生(中央大学) 他

(1) セミナー等開催

- ・2019年7月5日(金) 公開講座『インクルーシブな手法による空港における総合的なユニバーサルデザインとは』(中央大学研究開発機構)
- ・2019年7月11日(木) 公開講座『高齢化をめぐる地域交通の動向』(中央大学研究開発機構)
- ・その他、随時企画

5-1-6 国際委員会 委員長 佐藤 克志

○委員：北川博巳(兵庫県立福祉のまちづくり研究所)、大塚毅彦(明石工専)、土橋喜人(宇都宮大学大学院)、上野俊行(東京大学先端科学技術研究センター)

- (1) 英文による福祉のまちづくり研究のアーカイブ化
- (2) 学会の国際関係の窓口機能
- (3) 国際セミナーの開催、共催、協賛
- (4) 国際交流の機会づくり、国際会議の情報提供

5-1-7 災害研究・支援委員会 委員長 石塚 裕子

○副委員長：長谷川万由美(宇都宮大学)

委員：秋山哲男(中央大学研究開発機構)、狩野徹(岩手県立大学)、神田佑亮(呉高等工業専門学校)、鈴木克典(北星学園大学)、高橋儀平(東洋大学)、中野ひとみ(中国短期大学保育学科専攻科介護福祉専攻)、山岡俊一(豊田工業高等専門学校)、

- (1) 定例会を開催するとともに、各被災地(東北、北関東、関西、九州)の復旧・復興の現状を把握し、学会としての支援・助言を行う。
- (2) 報告会開催
公開研究会、シンポジウム、など成果を会員向けあるいは被災者向けに行う。
- (3) 学会の災害時対応システムの構築
2018年度に立ち上げた災害対応システムを引き続き整備し、災害対応会員のネットワークを構築する。

5-1-8 東京2020オリンピック・パラリンピック推進委員会 委員長 高橋 儀平

○委員：秋山哲男(中央大学研究開発機構)、竹島恵子(エコモ財団)、菅原麻衣子(東洋大学)、今西正義(DPI 日本会議バリアフリー顧問)

大会1年前となり、可能な限り大会準備状況を把握し、大会後のレガシー構築に関わる活動を展開する。

- (1) 2019年8月、(予定) 全国大会研究討論会：テーマ「東京2020パラリンピック大会を契機とした当事者参加の仕組みとレガシーの構築に向けて」(仮題)
- (2) 2019年2月、2020大会会場見学会
- (3) その他適宜研究会を実施する

5－2： 学術研究委員会

5-2-1 学術研究委員会 委員長 水村 容子

○委員：八藤後猛（日本大学）、佐藤克志（日本女子大学）、高橋儀平（東洋大学）、山田稔（茨城大学）
菅原麻衣子（東洋大学）、山崎晋（日本大学）谷本裕香子（東洋大学）、寺内義典（国士舘大学）

- （1）新論文投稿方式を「特定課題研究発表論文」と位置づけ全国大会時に実施する
- （2）第4期特別研究委員会として応募のあった以下の11委員会が活動開始

5-2-1 (1) 住民参画・社会環境特別研究委員会 委員長 長野 博一

5-2-1 (2) 子育て・子育てまちづくり特別研究委員会 委員長 植田 瑞昌

5-2-1 (3) 身体と空間特別研究委員会 委員長 原 利明

5-2-1 (4) サイン環境特別研究委員会 委員長 田中 直人

5-2-1 (5) 心のバリアフリー特別研究委員会 委員長 中野 泰志

5-2-1 (6) 地域福祉のモビリティデザイン特別研究委員会 委員長 吉田 樹

5-2-1 (7) 法制度特別研究委員会 委員長 男鹿 芳則

5-2-1 (8) 国家資格等に関連する合理的配慮特別研究委員会 委員長 上野 敏行

5-2-1 (9) 文化財・世界遺産のアクセシビリティ特別研究委員会 委員長 高橋 儀平

5-2-1 (10) 障害のある人の権利に関する特別研究委員会 委員長 川内 美彦

5-2-1 (11) インクルーシブリサーチ特別研究委員会 委員長 森口 弘美

5－3： 支部

5-3-1 北海道支部 支部長 鈴木 克典

- ・2019年度支部総会 5月予定
- ・2019年 開催時期未定：第14回北海道ユニバーサル上映映画祭（函館市、七飯町）
主催：北海道ユニバーサル上映映画祭実行委員会
共催：日本福祉のまちづくり学会北海道支部
- ・2020年2月予定：第19回「野生生物と交通」研究発表会（札幌市）
主催：一般社団法人北海道開発技術センター
後援：日本福祉のまちづくり学会北海道支部

5-3-2 東北支部 支部長 岡 正彦

- ・2019年5月：支部総会（東北福祉大学仙台駅東口キャンパス）

5-3-3 関東甲信越支部 支部長 八藤後 猛

- ・2019年5月：支部総会（日本大学）
- ・2019年8月：第22回全国大会
- ・2019年11月頃：若手研究者交流会
- ・2020年1月頃：支部研究会（内容未定）

5-3-4 東海北陸支部 支部長 嶋田 喜昭

- 2019 年 6 月：東海北陸支部 研究交流会の開催
- 2019 年 9 月：東海北陸支部 第 1 回セミナーの開催
- 2019 年 11 月：東海北陸支部 見学会勉強会の開催
- 2019 年 1 月：東海北陸支部 第 2 回セミナーの開催
- 2019 年 3 月：東海北陸支部総会（予定）

5-3-5 関西支部 支部長 田中 直人

- 2019 年 4 月：支部役員会および勉強会の開催
- 2019 年 5 月：総会および第 48 回関西セミナー
- 2019 年 5 月 15 日：アクセス関西ネットワーク学習会後援
- 2019 年 7 月 6 日：震災研究・支援委員会セミナー共催
- 2019 年 7 月：ひょうごユニバーサル社会づくり推進大会・第 27 回福祉のまちづくりセミナー後援
- 2020 年 1 月：見学会予定
- 研究会の開催（時期・回数等は未定。他団体との共催含む）

5-3-6 中国四国支部 支部長 山岡 俊一

- 2019 年 5 月：2019 年度支部通常総会（広島 YMCA 国際文化センター）
- 2019 年 5 月：講演会「子育て・子育てまちづくり」（広島 YMCA 国際文化センター）
- 2019 年 7 月：2019 年度（第 2 回）ミニセミナー
- 2019 年 10 月：セミナー
- 2020 年 3 月：2019 年度（第 5 回）日本福祉のまちづくり学会中国四国支部 研究・活動発表会

5-3-7 九州沖縄支部 支部長 岩浦 厚信

- 2019 年 6 月：2019 年度九州沖縄支部総会
- 2019 年：第 23 回全国大会実行委員会立ち上げ

議案-6 2019年度 予算案

2019年度予算書			
平成 31年 4月 1日 から 令和 2年 3月 31日まで			
			(単位:円)
科 目	2019年度 予 算 額	2018年度 実 績	差 異
I 収入の部			
1. 会費収入	6,648,000	6,340,000	308,000
正会員	6,400,000	6,110,000	290,000
学生会員	150,000	120,000	30,000
入会金	98,000	110,000	△ 12,000
2. 賛助会員会費	800,000	740,000	60,000
賛助会員	800,000	740,000	60,000
3. 事業収入	4,477,500	3,665,271	812,229
研究受託費	0	0	0
全国大会収入	3,000,000	2,815,509	184,491
論文掲載料・査読料	240,000	94,260	145,740
会誌等刊行物販売(会誌購読含む)	100,000	62,280	37,720
広告収入	60,000	30,000	30,000
事業委員会(受託＋イベント参加費)	480,000	450,720	29,280
常設委員会イベント参加費・懇親会費(除く事業委員会)	0	0	0
特別研究委員会イベント参加費	365,000	134,000	231,000
総会懇親会参加費	62,500	62,500	0
支部収入	170,000	16,002	153,998
4. 寄付金収入	0	0	0
5. 前年度繰越金	1,137,732	3,833,613	△ 2,695,881
6. 雑収入(利息等)	20	31	△ 11
収入合計	13,063,252	14,578,915	△ 1,515,663
II 支出の部			
1. 事業費	7,565,000	6,441,856	1,123,144
受託研究事業費	0	0	0
全国大会事業費	3,000,000	2,945,814	54,186
受付システム構築・概要集CDR作成	400,000	453,600	△ 53,600
全国大会時討論会	0	52,080	△ 52,080
論文 査読者謝金、通信、抜刷作成等	200,000	86,894	113,106
学会賞 事業費	150,000	143,940	6,060
会誌 学会誌3号分、XML化:J-STAGE	1,490,000	1,408,807	81,193
事業委員会 事業費	340,000	552,893	△ 212,893
国際委員会 事業費	60,000	0	60,000
災害研究・支援委員会 事業費	60,000	5,700	54,300
オリパラ委員会 事業費	60,000	24,800	35,200
翻訳:IPC講演会:講師旅費・会場費等	0	0	0
学術研究 特別研究委員会事業費	890,000	344,277	545,723
特別研究委員会 情報保障・保育等	245,000	0	245,000
支部 事業費	670,000	423,051	246,949
震災復興活動支援費	0	0	0
2. 管理費	5,486,000	5,999,327	△ 513,327
事務局本部人件費	2,600,000	2,577,547	22,453
事務委託費	1,800,000	1,870,589	△ 70,589
ホームページ維持管理	16,000	15,422	578
学会変更登記手数料	50,000	0	50,000
新リーフレットの印刷費	30,000	0	30,000
備品・消耗品費・コピー代等	20,000	15,789	4,211
通信費(切手代、宅配便、送金手数料)	30,000	55,205	△ 25,205
総会・理事会運営費(講師謝礼等)	140,000	144,326	△ 4,326
役員等交通費:総会、理事会、幹部会等	590,000	802,075	△ 212,075
選挙関連費用	0	320,561	△ 320,561
JD年会費	100,000	100,000	0
CPD登録料	30,000	25,710	4,290
税務処理費	70,000	70,000	0
事務諸経費(会議費、雑費)	10,000	2,103	7,897
3. 積立金および積み立て繰入支出	0	1,000,000	△ 1,000,000
4. 予備費	12,252	0	12,252
当年度支出合計	13,063,252	13,441,183	△ 377,931
当年度収支差額	0	1,137,732	
次年度繰越金	0	1,137,732	

5. 報告

- 1) 第 22 回（2019 年度）全国大会（東京）の概要
- 2) 第 23 回（2020 年）全国大会（九州沖縄支部）の概要

6. その他